

熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和3年(2021年)12月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

2022 1 月号

通算200号

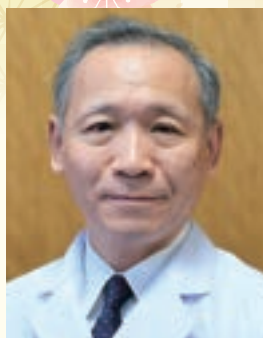
熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

年頭の辞	P1~2
『たより』200号発刊記念に寄せて	P2
編集後記スペシャル	P3
熊本地域医療センター勉強会 オンライン配信開始から1年が経過して	P4

年頭の辞



院長 すぎた ひろき
杉田 裕樹

あけまして、おめでとうございます。

昨年を振り返りますと、年明けの新型コロナウイルス第3波の拡大から始まり、その後第4波、第5波と到来し、多くの医療機関においてはその対応に追われるという1年間であったと思います。当院は、2020年7月から新型コロナ患者さんの入院受け入れを開始していましたが2021年10月までに計307名に上りました。この数は熊本市内の病院で4位、県内で5位になります。一方、新型コロナ大流行により2021年は当院の開院40周年でしたが、感染対策の面から残念ながら祝賀会などのイベントは開くことはできませんでした。この原稿を執筆しております2021年の年末時点で新型コロナ感染症はかなり落ち着きを見せておりますが、新種の変異株であるオミクロン株の世界的急増が報じられ、日本国内におけるその拡大が危惧されており、第6波の到来がいつになるのか、いつになれば新型コロナが収まり経済活動を以前通りに再開できるのか等が人々の関心事だと思えます。

当院は2020年4月に中核病院としては熊本初の新型コロナ院内感染が発生した後、感染対策を見直し徹底した感染対策を行うと共に職員の健康管

理と行動制限を開始し、現在でもこれを継続しております。言ってみれば、病院内では緊急事態宣言がずっと継続している様なものです。面会制限や職員の行動制限につきましては他医療機関と比べ少々厳しいかもしれませんが、過去の苦い経験から、やむを得ないことであったと思っております。しかし、これらの制限は患者さんや職員のメンタルヘルスという面ではマイナスとなる事は明らかです。入院患者さんと家族が直接面会ができないことが不安やストレスを誘発する材料となることは間違いなく、コロナ禍になり開始した年数回の当院全職員を対象としたメンタルヘルスの調査においては毎回悪化傾向を見せており、危険水域であることは明らかです。そういう意味で今年は感染状況を鑑みて面会制限や行動制限を段階的に緩和できるようになればよいと願っております。

2021年12月から当院職員においても3回目ワクチン接種が開始となりました。その後一般の方の3回目ワクチン接種が予定されており、また海外では経口の新型コロナ治療薬がすでに開発され、その認可を待っている状況です。昨年の年頭の辞ではファイザー社のワクチンがすでに開発されており、これに期待が持てることを述べましたが、実際に予想以上の効果があったのではないのでしょうか。新経口治療薬にもかなり期待が持てるのではないかと思います。新変異株が次から次へと出

現して来るため予測は困難ではありますが、人類の英知／科学により新型コロナウイルスに打ち勝つ、または共存できる時がすぐそこまで来ているのかもしれない。

さて、2021年末熊本市医師会は新病院建築の設計施工会社の公募を開始いたしました。新病院建築計画は新型コロナウイルス大流行によって2020年4月以降一旦ストップしておりましたが、2021年10月7日約1年半ぶりに医師会建築委員会が開かれ、病院建て替えが再び進められることとなりました。今回また一步前進したということになります。2020年12月厚生労働省は医療計画の6事業目に新興感染症対策を盛り込み、第8次医療計画からは5疾病6事業となりました。また、地域医療構想は、コロナ禍で足踏みしておりましたが、

再び進み始めました。日本の少子高齢化、人口減少や新興感染症などが予測される10年、20年後の日本の医療情勢に対応可能な病院建築を行うことが重要となっております。今年設計施工会社の選定を行い、具体的に建築を進めていくこととなりますが、将来を見据えたきっちりとした計画のもとに一日でも早く新病院が竣工することを願います。

前出のように、昨年当院はちょうど開院40周年となりました。長い間地域医療に貢献することができましたのはご支援してくださる医師会員の先生方や連携して頂いております基幹病院のおかげであると大変感謝を致しております。本年もご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

『たより』200号発刊記念に寄せて

出勤協力医連絡室長兼地域医療連携室長兼手術部部长

やなぎ
柳

ふみはる
文治



平素より大変お世話になっております。平成26年4月から地域医療連携室を担当しています。私が着任したのは、平成19年4月で、それより前の平成17年6月に「熊本地域医療センターだより」(以下、『たより』)第1号が発行

されておりました。地域医療連携室では、『たより』以外にも広報活動として、平成22年から診療案内の発行、平成28年からホームページの充実なども行なっています。その中で『たより』は、新鮮な情報を毎月確実に発信するという意味でも特筆すべき広報活動です。熊本市医師会の先生以外で、森都医報が届かない先生方にも送付しています。政令指定都市熊本市内の植木の先生方はもちろん、(最近、熊本市医師会に合流されましたが)城南、富合の先生方、熊本県の地域医療構想10区域のひとつで「熊本・上益城」として同じ地域に含まれる上益城郡の先生方、それ以外の地域で患者さんのご紹介をいただく熊本県外を含む先生方にも送付しており、発行部数は1400部程度になります。

平成28年熊本地震に際しても本誌を発行し続けたことは、平成30年に病院機能評価第三世代認証時に、地域医療連携室がSクラスの評価をいただいた部門のひとつになった理由に挙げられ励み

になりました。令和元年の連携の会の際にひぐち小児科・小児外科の樋口章浩先生から、「せっかくの広報誌なのにマンネリ化してしまうと会員の先生が開封さえされなくなるのではないか」というご心配に加えて、「『友達の輪』でrelayトークを掲載するようにはどうか、手始めに自分が書いて友達にリレーするから」というご提案をいただきました。そういう訳で「先生方と当院に関すること」というテーマで、令和元年11月号より2ヶ月に1回持ち回りでご寄稿いただくようにしてから丸2年続いています。最近では、令和2年10月号でアレルギー診療センター特集を組んだところ元某病院長で、現在開業されている大先輩から「良かった」とわざわざお電話をいただき感激しました。

初代の八木 泰志先生(平成14年10月～)を引き継がれた田上 正先生(平成17年4月～)を中心に平成17年6月に第1号『たより』が発行され、稲吉 厚先生(平成20年4月～)、有田 哲正先生(平成23年5月～)、清住 雄昭先生(平成24年4月～)の歴代地域医療連携室長と地域連携委員会の各委員の努力で『たより』が引き継がれていることに感謝いたしますと共に、今後も『たより』が患者さんのご紹介に繋がるように工夫していきたいと思っています。

編集後記スペシャル



ヘルスケアセンター

ちば りょういち
千葉 亮一

通巻200号おめでとうございます。コアで古参の「センターだより」ファンならば憶えていてくれるのでしょうか、「R」こと千葉亮一です。2005年暮れに初代地域医療連携室長の田上正先生にスカウトされ、2006年1月号（8号）から2019年9月号（172号）まで「センターだより」のレイアウトを中心に編集作業に特化した連携室メンバーとして地域医療センターに在籍していました。

今は隣のヘルスケアセンターに異動となり、連携室を卒業しました。今の「センターだより」にも基本レイアウトや題字など昔からのデザインも多く連携室時代を懐かしく思います。

原稿を書くにあたり改めて読み返してみると通算100号の編集後記の特集で、「150号の編集後記が書けるよう頑張ります」と記していました。残念ながら150号は通常編集となりスペシャル編集後記を書く機会はありませんでしたが、200号にOBとして呼んでいただき大変光栄に思っております。「センターだより」がいつまでも地域医療センターの広報誌として愛読していただけることを初期メンバーの一人として願っています。



総務課 庶務係

いとう しょうこ
伊藤 祥子

私は、令和元年12月まで地域医療連携室に所属し、約5年間センターだよりの仕事に携っていました。連携室時代には、『医師会員の先生方と当院の架け橋になる』を目標にし、代表電話を受けた際『伊藤さんですか?』と、会員の先生から名前や声を覚えていただいたのは、今でも嬉

しく思っています。現在は総務課庶務係に配属され、間もなく2年が経過します。また、医療メディエーターの資格を生かし、患者サポート相談窓口担当者としても活動しております。特に治療と仕事の両立をしたいと考える方のお力添えとなれるよう、日々精進して参ります。最後に、センターだより200号を発行できたことは先生方からご愛読いただき、時には寄稿していただいたことによるものです。誠にありがとうございます。私自身も、毎月の発行を楽しみにしております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室 主任

たけはら かなこ
竹原 佳奈子

令和2年1月より、地域医療連携室へ異動となり、「熊本地域医療センターだより」の編集に携わることとなりました。以前は、イベントが開催ごとに、担当者へ原稿を依頼していたと聞いております。しかし、このコロナ禍ですべてが自粛。本冊子企画も兼ねております委員会では、原稿依頼をどうするかとの話題になりますと、委員全員がだんまり、うつむいてしまうことも屡々です。

しかし、2カ月に1回、会員の先生方につないでいただく「Relayトーク」。こちらは、先生方のユーモアな出来事、また、懐かしい思い出など、楽しく拝見しております。次は〇〇先生へお願いします。と、メの一文。先生方の絆にも、感謝しお礼申し上げます。

さて、本冊子も200号を迎えることとなりました。白黒からカラー印刷へと変わり、紙質もグレードアップしております。内容につきましても、さらに新しい企画を取り入れ、会員の先生方との連携また交流を深めていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



地域医療連携室

いのうえ ひろし
井上 洋志

平素より本誌をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。おかげさまで本誌「熊本地域医療センターだより」は、平成17年6月の発刊以来、今回で通算200号を迎えることができました。現在、前任の伊藤より業務を引き継ぎ、令和2年1月号（通算176号）より本誌を制作させていただいております。私が担当し始めて間もなく新型コロナウイルスが世界に大流行しました。

それに伴い、例年本誌にも掲載していた院内外のイベントが中止となり原稿不足に陥りました。原稿案を検討する会議が度々難航し、大変苦勞しましたが、なんとか通算200号までたどり着くことができ安堵しています。次の節目である通算300号制作にも携われればと思います。

通算200号を刊行するにあたり、諸先輩方が引き継いでこられた「熊本地域医療センターだより」の歴史を知るいい機会となりました。今後は、より多くの会員の先生方にご愛読いただけるよう様々な企画を取り入れてまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本地域医療センター勉強会 オンライン配信開始から1年が経過して

総務課 庶務係 たのうえ こうじ 田上 弘治



平素より患者様のご紹介や病院運営等で大変お世話になっております。

毎月第4月曜日に開催しております熊本地域医療センター勉強会は、昨年10月より ZOOM にてオンライン再開させていただいておりますが、早いもので1年が経過いたしました。初めての試みとなりましたので、画像や音声の不調で大変ご迷惑をおかけしましたが、少しずつ改善を重ね、最近ようやく一定のクオリティにてご提供させていただけるようになりました。今後も改善に努めて参りますのでご意見がございましたら遠慮なくお申し付けください。

現在は、ハイブリット開催としておりますので、直接会場にお越しいただきご参加いただくことも可能となっております。10月以降の熊本県の感染状況は落ち着いておりますので、10月の勉強会には7名の先生に直接ご参加をいただいております。オンラインでは、ご自宅や医院で視聴できるため移動の手間が少ない等のメリットがございますが、直接会場にお越しいただきますと、質疑応答の盛り上がりも実感いただけます。オンラインでの開催の良さと直接参加することでの良さをそれぞれ生かせるように工夫していきたいと考えております。

今後も熊本地域医療センター勉強会へのご参集と患者様のご相談・ご紹介を何卒よろしく願います。

第106回 熊本緩和ケアカンファレンス 熊本地域医療センター 緩和ケアに関する研修会

日 時 / 2022年1月27日 (木) 18:00~19:00

形 式 / オンライン形式 (Zoom)

テーマ / **精神疾患を持つ患者の終末期看護**

対象者 / 熊本県内の医療・介護関係者

申し込み方法 / QRコードもしくは下記 URL よりお申し込みください。

<https://forms.gle/EAYNGatcpDyAX5PG9>

申し込み期限 / 2022年1月26日 (水)

問い合わせ先 / 熊本地域医療センター 緩和ケア科 安部英治

eijiabe.palliative@gmail.com

※詳細につきましては、当院ホームページ「当院からのお知らせ」をご覧ください。



申込フォーム
QRコード

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日 時 / 2022年1月24日(月) 19:00~20:00

形 式 / ハイブリット方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加: ZOOM

会場参加: 2階多目的ルーム

申し込み方法 / kumamotochiiki@gmail.com までメールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)

※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。



熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311 (代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします!

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

①症例報告

「腸管スピロヘータ症の症例 (仮)」

消化器内科 柏田 彩圭 医師

②特別講義

「消化器系の遺伝性腫瘍」 CC10: チーム医療

消化器内科 田村 文雄 医師